

令和4年12月1日

小田原市長 守屋 輝彦 様

小田原市国民健康保険運営協議会

会長 林 良英

令和4年11月17日開催の令和4年度小田原市国民健康保険運営協議会第3回協議会の概要を次のとおり報告します。

1 日 時 令和4年11月17日（木）午後2時00分から午後2時50分まで

2 場 所 小田原市役所 7階 大会議室

3 出席者 委 員 湯川 増夫  
" 田中 由美子  
" 杉浦 史朗  
" 西山 節子  
" 柏木 勢  
" 岡田 健  
" 小川 恭弘  
" 林 良英（会長）  
" 田島 哲也

事務局	福祉健康部長	中津川 英二
	福祉健康部副部長	古矢 智子
	保険課長	佐藤 和広
	保険課副課長	山崎 正裕
	保険課保険料係長	釦持 学
	保険課主事	岡本 直毅

欠席者 委 員 鈴木 正彦  
          "          川越 三洋  
          "          漆畑 俊哉  
          "          長谷川 嘉春  
傍聴者 なし

#### 4 議題

##### (1) 協議事項

協議第5号 令和4年度小田原市国民健康保険事業特別会計補正予算（案）について

##### (2) その他

片浦診療所の機能・施設の検討について

#### 5 会議の概要

##### (1) 協議事項

- 協議第5号 令和4年度小田原市国民健康保険事業特別会計補正予算（案）について
- 説 明 （事務局が資料1に基づき説明）
- 質 疑 等

##### 湯川委員

原則口座振替への規則改正とのことだが、市民の中にはあえて口座振替を設定しない方もいると思うが、口座振替は強制なのか。

##### 事務局

強制ではない。納付書による納付を希望される方には、納付書で納めていただくこととなる。

##### 田島委員

予算額について、国民健康保険料以外も登録する際は費用按分になるのか。

##### 事務局

端末は一度の登録で複数科目登録ができる機能を持っている。あくまでも事務局としては、現時点では国民健康保険料を主とし、併せて他の科目も登録できるという考えで導入するものである。以後の口座振替に関する手数料等については今

後の動向を見ながら、各所管課で予算措置していただく考えである。

**林委員**

端末8台について、4台が市役所、残り4台をアークロード市民窓口と各住民窓口  
に1台ずつ配置と見受けられるが、4台はすべて国民健康保険の窓口  
に配置するのか。

**事務局**

端末の配置についてはおっしゃられるとおりである。必要に応じて、他課には貸し出しをする予定である。

**林委員**

金融機関契約手数料は、当初一括払いなのか、実績に応じて支払うものなのか。

**事務局**

サービス開始にかかる契約手数料であり、当初一括で支払う。

**林委員**

口座振替手数料は今までどおり、別でかかるということか。

**事務局**

その通りである。

**杉浦委員**

ペイジーに関する統括は福祉健康部が行うのか。

**事務局**

現時点では国民健康保険料が主なことから、福祉健康部が統括する。今後は他課の利用頻度に応じて検討していきたい。

**杉浦委員**

市民の立場からすると問い合わせ先を知りたいが、福祉健康部でよいのか。

**事務局**

福祉健康部でよい。

協議第5号について、原案どおり了承された。

(2) その他

■その他 片浦診療所の機能・施設の検討について

説明 (事務局が資料2に基づき説明)

質疑等

**田島委員**

P.7の歳入について、一般会計繰入金と特別会計繰入金があるが、税金での負担と、国民健康保険での負担はどのようになっているのか。

**事務局**

一般会計繰入金が税金での負担であり、特別会計繰入金が国民健康保険での負担である。なお、特別会計繰入金については、へき地診療施設としての国からの補助金があてられているものである。

**田島委員**

今後片浦診療所についての最終判断は、国民健康保険のみでの議論で決まるのか、小田原市としての議論となっていくのか。

**事務局**

小田原市の国民健康保険事業としてどうするのかとなるが、まずは別紙スケジュール(案)にもあるとおり、様々なテーマについて議論していただき、検討していく。

**林委員**

来年度、参考人出席や現地視察等が予定されているが、予算要求はしているのか。また、それは新たな経費を作り要求しているのか。

**事務局**

参考人出席に係る謝礼金や、現地視察用の電車賃(旅費)等を、総務費の運営協議会費で予算要求している。

以上